



祇園学区 社協だより

令和3年12月
第67号
発行
祇園学区
社会福祉協議会
編集・広報部



社会福祉協議会会長

わが町 祇園

堀江正憲

かつての祇園町

昭和18年、4カ所の町村（祇園町・長束村・原村・山本村）の合併が行われ、それに伴い、新たな町名を『祇園町』と決定しました。ちなみに、当時安佐郡の人口が61,925人で、合併後の祇園町の人口が10,278人となり、安佐郡内人口の6分の1強は、旧祇園町在住者でした。

この頃の祇園町は、田園風景ののんびりした田舎町で、旧国道をボンネットバスが30分に1本位走り、牛や馬で田んぼを耕すという温かい感じの町でした。旧道には魚屋、肉屋、呉服店等が立ち並び、商店街として多くの人々で賑っていました。留守

に家の鍵をかける人も少なかったと聞いています。

安川は、兩岸にねこやなぎや竹林が茂っており、橋の上から魚の泳ぐ姿が見える程透き通った川で、川蟹なども取れていました。大雨が3日も続くと洪水になり、安川の土手が切れて、私の家の前の安神社は鮎の釣り船で、物資を隣の家に配り、2階には焼きおにぎりや梅干しが並べられ、バケツややかんに水を入れて洪水に備えていました。

その安川も昭和30年、安川と古川へと流路を短絡し、祇園町内の安川は、現在のような、下水道が地下に築造された廃川敷（緑道公園や散歩道）となり、旧安川は小瀬歩道橋に近い樋門から、廃川敷として祇園の町を南下し、新安川廃水樋門を出て太田川に通じています。

祇園町の道路事情

『祇園に東西の道路が必要である』という事での道路計画「西原・山本線」は、昭和34年4月15日に祇園中学校の下の交差点から清心幼稚園の南側、下祇園駅の北側の踏み切りを経て国道183号線までの計画道路で、安佐郡祇園町の時、広島市との合併条件のひとつであったと聞いたことがあります。今後については現在不明です。

この頃の祇園には、三菱の工場がありました。蒸気機関車の貨物が下祇園駅からの引き込み線で、三菱の工場の中へ出入りしていました。昭和47年8月、広島市は安佐郡祇園町と合併し、祇園町は安佐南区となり、昭和55年4月には全国で10番目の政令指定都市となりました。昭和63年頃にかけて山陽自動車道が開通、平成6年に新交通システムのアストラムラインの運行、平成21年に大型ショッピングセンターのオープンなどで交通の流れ、物資の流れも大きく変わってきました。人口も新しいマンションの建設や大規模な団地の造成により増加の一途を辿っており、下祇園駅の北側の踏み切

り、人口、車の増加でとても危険な状態となっております。また、下祇園駅の乗降客も1日1万人を超えており、対応が困難になりつつあり、この度改造されることになりました。改造にあたり東西にエレベーターを設置、駅ホームに列車到着時、「祇園音頭」を流すべく下祇園駅の工事が始まっています。この「祇園音頭」についてはJR可部線下祇園駅「祇園音頭」メロディー設置発起人会代表・荒木和雄様、女性会・堀越隆江様、後藤奏苗様がご尽力されておられます。

災害から子どもたちを守る

祇園学区は保育園、幼稚園、児童館、小学校、中学校、高等学校、大学があり、子供たちに良い環境の文教地区でもあります。しかしながら、平成23年5月12日、祇園小学校の児童3名が新安川で亡くなる悲しいことがあり、その後の広島土砂災害でも、祇園は約40%が水に浸かりました。【参考資料・広島土砂災害(豪雨) 祇園学区防災参考資料、平成26年8月20日・祇園学区の被害状況カラー写真集

【36頁】それに伴い祇園学区社協、自主防災、青少年協、保育園、幼稚園、児童館、小学校、中学校の緊急避難訓練を計画、平成28年6月13日、祇園小学校で約400名の参加にて避難訓練を実施、平成29年5月9日、祇園中学校へは約700名の訓練参加となりました。この様子を166頁の本【祇園学区・保育園児災害避難訓練参考資料】として自治会、関係者の方に配布致しました。

祇園学区は、幼・保育園から大学まで揃う文教地区であり、児童、生徒、学生等多い地区です。地区の安全確保のため、各団体の方がパトロールに参加されています。私も39年間、月に2〜3回は地域をパトロールしています。

人口増加に伴い諸問題も増えてくるものと思います。地域、安全確保のため、皆様のご協力をお願いします。

コロナ禍で、敬老会が中止となりましたが、敬老の気持ちを中学生に作文にしてもらいました。

祇園中学校二年

高橋 迅

たくさんの「支え」



僕の住む地域には、いつも支えてくださっているお年寄りの方がたくさんいらっしゃいます。登下校中に横断歩道で見守ってくださったり、あいさつやゴミ拾いをしてくださったりと、様々な所で僕たちを支え、地域の安全を守ってくださることにも感謝しています。

僕は毎年、安神社の祭りを楽しみにしています。屋台やステージ、時には神楽など、わくわくすることがたくさんあります。ある年の祭りの当日、お昼に神社を通ると、屋台やステージの準備をされています。夜は、ごみ拾いや警備、後片付けなど、お年寄りの方々のたくさんの方々の苦勞を見ました。僕たちを楽しませるために、知らない所でたくさん支えがあり、この祭りが開催されているのだと初めて知りました。今年も新型コロナウイルスの影響で祭りが開催されませんでした。来年はあつことを楽しみにしています。

あなたの家、あなたの家の近くの神社は誰が掃除をしていますか。私の家の近所にも神社があります。この神社は地域のお年寄りの方々がいつも掃除をしてくださっています。そのお陰で、神社にはゴミが一つもなく、私が小学生のときから今までずっときれいなままです。何年も掃除を続けてくださっている方もいると思います。そう考えると感謝の気持ちでいっぱいになります。

縁の下の力持ち
沖 優花
祇園中学校二年

最近、この神社で遊んでいる小さい子をよく見かけます。神社がきれいだからこそ、保護者の方も安心して子どもたちを遊ばせてあげられるのだと思います。小さな子どもでも安心して行ける場所があることで、交流の場となり、子ども同士だけでなく、大人同士もつながるきっかけとなります。このような一つの取り組みがコミュニティをつくっていくのだと思います。



着任のご挨拶
宮野 高広
祇園中学校教頭

平素より祇園中学校の教育に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度まいりました教頭の宮野高広です。どうぞよろしくお願ひいたします。祇園中学校に赴任が決まり、さっそく中学校のホームページを見ました。そこには、地域の皆様と清掃などともに活動する姿がたくさん掲載されています。



残念ながら、今年も地域の皆様と触れ合う機会は多くはありませんが、生徒たちが地域の皆様に見守られ、支えられ育つたことを感じています。それは、挨拶です。生徒たちは、校内でもとても気持ちの良い挨拶をしてくれます。これは、地域の方々にも育てられ培ってきた力の一つだと思います。祇園中学校は、今年度1188名の生徒数です。教室やグラウンド、部活動の場所など十分なスペースがあるとは言えません。それでも生徒たちは、交代で使う、分け合って使うなど工夫しながらたくましく生活しています。登下校時には人数が多いため、ご迷惑をおかけすることもありますが、引き続き地域の皆様にも見守っていただき、安全に登下校できることを願っています。

地域の宝である子どもたちを、皆様とともに育てていきたいと思ひます。今後ともたくさん御支援、御協力をお願いします。



祇園小学校の子どもたちへ 夏の思い出作り!

第14回 おやじの会花火大会

祇園小学校おやじの会会長

前田 大輔



地域の皆さまには平素よりおやじの会の活動にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さる9月4日に祇園小学校グラウンドにておやじの会主催打ち上げ花火を実施させていただきました。このおやじの会花火大会も今年で14年目。花火大会の開催にあたり関係各所と協議を重ねて参りましたが、今年も昨年に続き無観客による打ち上げ花火のみ実施いたしました。

コロナウイルスの影響でほとんどのイベントが中止になっている祇園小学校の児童たち。特に6年生の子どもたちには、おやじたちが送る夏の最



後の打ち上げ花火を小学校最後の夏の思い出にしっかりと胸に刻み付けてほしい! この思いでおやじたちが協力して開催にこぎつけました。一番の問題となる費用ですが、社会福祉協議会や青少協の地域団体の皆さまから資金提供していただき、足りない分はおやじの会の資金から捻出して補填しました。来年こそは以前の形で子供たちに集まってもらい開催できることを祈るのみです。

今後ともおやじの会の活動を応援してくださいますようお願い申し上げます。

ラジオ体操やっています

上地区緑道公園内の2カ所で地域の有志で立ち上げたラジオ体操が行われています。

1カ所は、通称・青公園(パチンコテキサスの西側)で6時半から行われていましたが、11月から8時40分になりました。

最初は、発起人2人で、お年寄りの健康づくりのために、ラジオ体操をしようと考えられ、始められたのが徐々に増え、3年目に入った現在では、30人に達しています。1年目は、週1回火曜日だけでしたが、要望もあり今は、火・水・木曜日の3日間行われています。参加者が自主的に役割を分担し、スムーズに進行されています。

2カ所目は、祇園保育園前の通称・かに公園で週6日(月・土)、7時から行われています。

最初は発起人5人で始め、1年目になるとの事。現在は、35人を数えています。参加者の方の手作りの看板もあり、それを中心に皆さんがいきいきと体操をされています。

参加者は、朝の爽やかな空気を



通称・かに公園

手作りの看板

通称・青公園

吸って体操をする事で、健康になるし、何と言ってもお互い顔なじみになり、スーパ一等で出会う事も、挨拶は勿論会話も出来るようになり、このラジオ体操に参加してとても良かったと話しておられました。

どちらのグループも、皆さん爽やかにいきいきと体操をされています。

ラジオ体操は他の所でも行われているようです。



ホールインワンをめざして

練習後の談話

祇園集会所活動紹介

皆さんこんにちは。私たちはグランドゴルフ同好会です。

毎週日曜日午後1時から、祇園集会所のグラウンドで、楽しく遊んでいます。一緒にやってみませんか。

終わつた後、お茶を飲みながら世間話等して、和気あいあいとやっています。体を動かしてみようと思われ方は、一度見学にお越し下さい。参加をお待ちしています。

後期高齢者の仲間入りをして



北上地区

原野 祐三さん

嘱託の私に、庶務担当者から掛けられた「健康保険証の返還時期ですよ」との言葉が後期高齢者への仲間入りの初日と覚えています。

私の健康寿命を支えた影の立役者が我が家にはいます。名前はメルというトイプードルです。年齢13歳の老犬です。

雨にも負けず、近年のコロナにも負けず、毎日朝の散歩を欠かすことを決して許さなかった結果が私の健康寿命へと繋がっています。しかし、同じ時間を分かち合い、共に生活していく中で人間と犬の老化スピードの差もまた浮き彫りになってきました。あと3年も

経てば私もメル（人間に換算すれば）も80歳に手が届く年齢、お互いの体力の衰えに配慮した生活となるでしょう。

コロナ禍の自粛でほとんど外に出ない高齢者が増加していると聞きます。心身の機能低下の予防を日々実践させてくれた老犬に改めて感謝しています。

今後は、自らの健康寿命を延ばしつつ、現役時代はおろそかにしてきた地域活動に参加していく所存です。そうすることで、地域に恩返しができれば、これも生き方のひとつの証と考えています。



【長寿者インタビュー】
久保田 幸子さん

祇園二丁目 (九十二歳)

健康への心掛けは

足が一番大事なので、家の中で足踏みや、お風呂の中で身体を動かします。身の回りのことは自分でするようにしています。

これまでで一番の思い出は

旅行です。ヨーロッパツアーで、中でもイタリアが好きになり、家族旅行でも行きました。弾き流しの歌手の歌声がとても良かったの

をよく覚えています。

趣味は何ですか

昔は刺繍やレース編みをしていました。今は、習字や脳トレで好きなパズルをしています。

人生の先輩として

次の世代に伝えたいことは

若い人達には老後のことを考えたり、政治にも関心を持ったりして、よい国にしてもらいたいです。



▲講演会の様子

◀いきいきクラブ100歳体操 (左上)



GIONイキイキクラブ二〇〇

会長 藤川 辰正

私たちの新たに立ち上げたクラブは、「要介護の状態にならない活動」を大きな柱と掲げ、これまでのクラブ活動をベースにしたから「フレイル対策」を中心に取り組みを進めております。

「健やかに老いる」夫婦、親子が、お互いの介護を必要とせず、自分たちの家族を泣かせないように、最後まで自分自身の手で、日常生活が営まれるようにしていきたいと、会員一人ひとり努力しております。

住み慣れたこの地で、地域の方々とのご縁を大切に、笑顔あふれる、明るく元気なクラブを作り、さらに次世代に引き継いでいきたいと思えます。

お知らせ

北上地区常任理事

引地元さんの後任として原野

祐三さんが引き継がれました。

喜びの表彰

社会福祉協議会関係功労者

- 林 直隆氏
- 吉永 菅子氏
- 竹元 百合子氏
- 伊藤 すま子氏

赤い羽根共同募金

ご協力いただきありがとうございます

| 令和3年度 地域別長寿者数(75歳以上) | | |
|-------------------------|-----|-------|
| 地域名 | 男性 | 女性 |
| 上 | 155 | 221 |
| 中 | 110 | 173 |
| 下 | 149 | 196 |
| 青原 | 96 | 159 |
| 北下 | 110 | 173 |
| 北上 | 58 | 103 |
| 合計 | 678 | 1,025 |